

教育目標：「知性を磨き 心を見つめ チャレンジする生徒」



『 気づき 考え 行動 』 豊見城市立伊良波中学校 校長 下地 秀隆

「令和6年度第39回卒業式『花文字』で卒業生を祝う」

花文字で卒業生にエール 豊見城・伊良波中

【豊見城】豊見城市の伊良波中学校で7日、卒業式が開かれ、オレンジ色のマリーゴールド約700苗で作られた花文字が中庭に設置された。花文字は、在校生と同市の建設業者「巴総業」が卒業生のために制作した。式典後に卒業生や教員、保護者が集まり、花文字を背景に記念撮影して、新たな門出を祝った。4月の入学式でも新入生に向けて花文字を作る予定。

在校生と地元業者が制作 「写真で思い出残せた」

式典後に、花文字を寄贈した巴総業の安谷屋要さんに、学校から感謝状が贈られた。安谷屋さんは「3年生、卒業おめでとう。次の人生のステップアップになると思う。負けずに今後も頑張してほしい」とエールを送った。

設置を取りまとめた在校生リ

ーダーの大城倅輝さん＝1年＝は「入学式も準備してもらったので、その恩返しとして取り組んだ。何回かやり直しもあり大変だったけど、上出来にできた」と振り返った。

花文字設置を提案した下地秀隆校長は「地域と学校が一つになって、卒業生を祝おうと実施



贈られた「祝卒業」の花文字を背景に記念撮影する卒業生ら。7日、豊見城市立伊良波中学校

したが、ものすごく良い取り組みになった。これを機会に地域と企業がどんどんつながって、地域に誇れる学校になっていけたらと期待している」と話した。

3年生の田中咲帆さんと崎原えみりさんは「とてもかわいくて、思い出として写真に残せた。写真が映えるのうれしい」と笑顔で話した。（田中芳）

生徒と地域、学校が一体となった卒業式



巴総業代表：安谷屋要氏、花文字生徒リーダー：大城倅輝